



目指せプロ化陸上競技



陸上競技人口推移							
(年)	人口(人)	(年)	人口(人)	(年)	人口(人)	(年)	人口(人)
1993年	140,000	2003年	130,000	2013年	260,000	2023年	315,000
1994年	130,000	2004年	130,000	2014年	295,000		
1995年	130,000	2005年	125,000	2015年	300,000		
1996年	120,000	2006年	135,000	2016年	320,000		
1997年	120,000	2007年	150,000	2017年	320,000		
1998年	120,000	2008年	170,000	2018年	320,000		
1999年	120,000	2009年	180,000	2019年	315,000		
2000年	130,000	2010年	205,000	2020年	280,000		
2001年	130,000	2011年	230,000	2021年	300,000		
2002年	130,000	2012年	250,000	2022年	300,000		

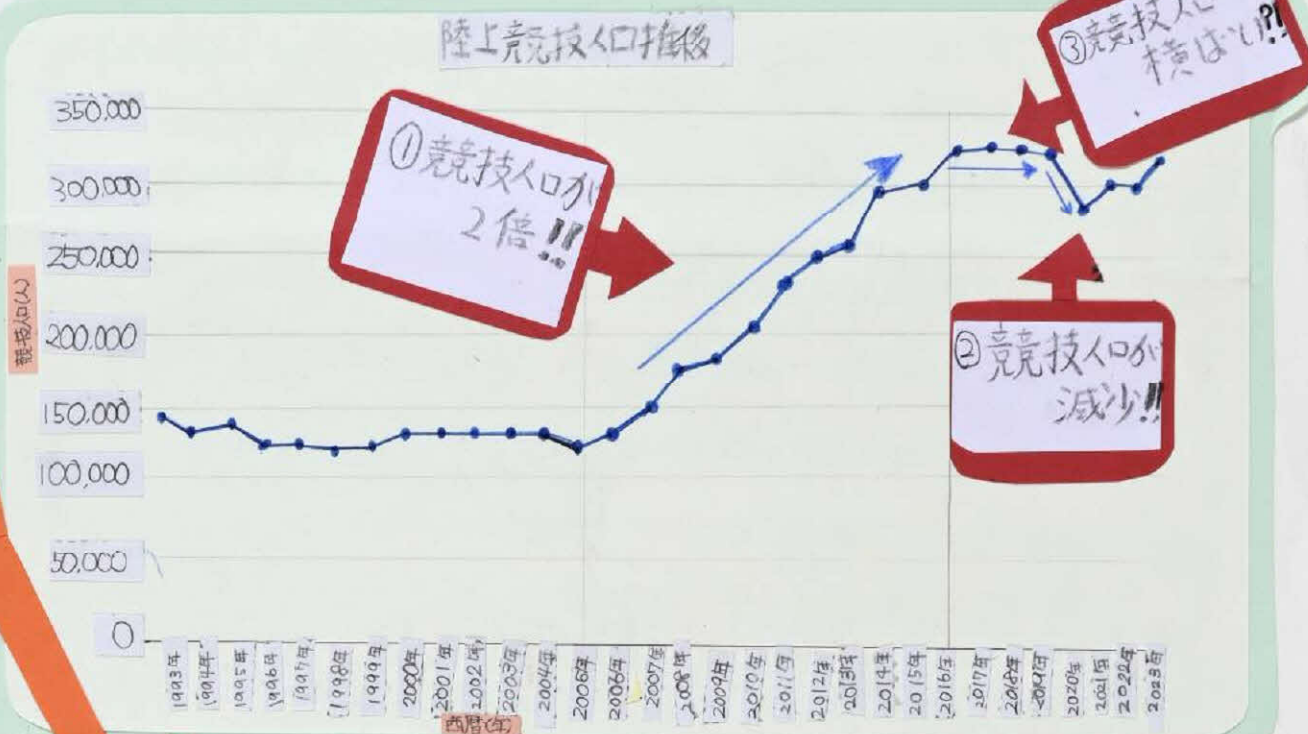
きっかけ:

2025年9月13日から東京で世界陸上が開催されます。私は陸上部に所属していることもあり、日本選手の活躍がとても楽しみにしています。日本選手が世界と戦えるようになったのは、競技人口が増えたのかもしれないと思い、陸上競技の人口を調べることにしました。また、他の競技とどのくらい競技人口が違ってくるのかを調べることにしました。

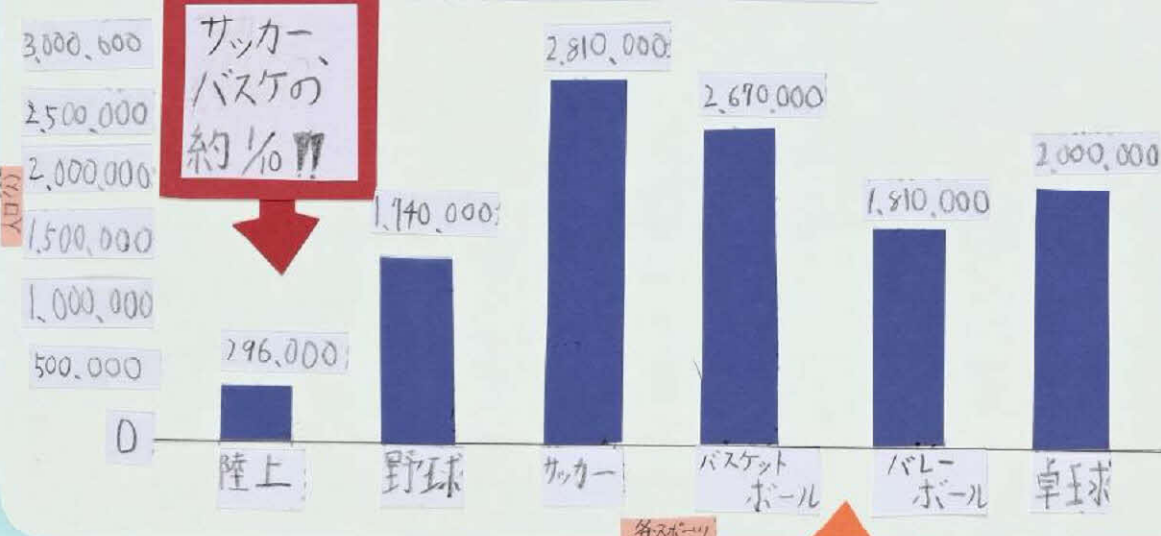
① 2005年から2016年にかけて、競技人口が2倍以上になりました。これは、2020年(2021年)に開催した東京オリンピックに向けた取り組みで競技人口が増えたと推測できます。

② 2020年で一時的に競技人口が減少しているのは、コロナの影響だと推測できます。

③ 2016年から2023年まで競技人口が横ばいとなっているのは、競技人口が増えたとはいえ段階から競技者のレベルを上げる段階へ移行したことが推測できます。



小中高の主な競技の人口比較



陸上競技人口の推移:

1993年~2023年(10代(小学校、中学校、高校)の競技人口の推移を調べました。
引用元: 日本陸上競技連盟 2024年8月 陸連時報より

小中高の主な競技の人口比較

	小学生(人)	小学生(人)	小学校比率(%)	中学校(人)	中学校比率(%)	高校(人)	高校比率(%)
陸上	296,000	28,960	9.8%	176,000	57.4%	97,000	32.8%
野球	1,740,000	388,020	22.3%	314,940	18.1%	187,920	10.8%
サッカー	2,810,000	1,152,100	41.0%	699,690	24.9%	452,410	16.1%
バスケットボール	2,670,000	801,000	30.0%	664,830	24.9%	622,110	23.3%
バレーボール	1,810,000	369,240	20.4%	369,240	20.4%	345,710	19.1%
卓球	2,000,000	428,000	21.4%	400,000	20.0%	319,000	15.7%

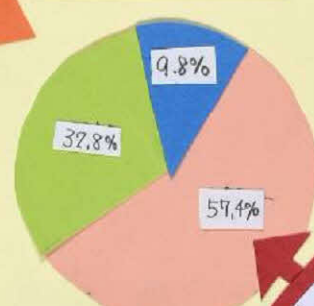
他の競技との人口比較:

野球、サッカー、バスケットボール、卓球の10代の競技人口と陸上人口を比べてみました。各競技において、小学生、中学生、高校生の競技人口の割合を比べてみました。

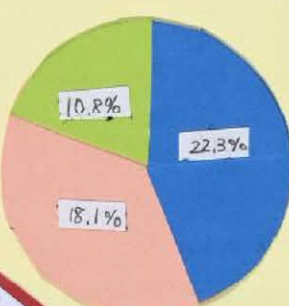
引用元:
日本陸上競技連盟 2024年8月 陸連時報より
笹川スポーツ財団、子ども10代の種目別競技別推計実施人口より

主な競技の小中高の人口の割合

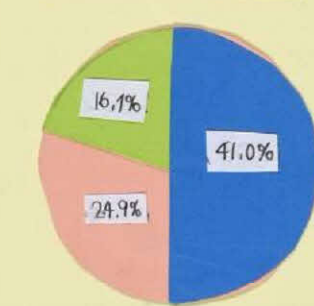
陸上



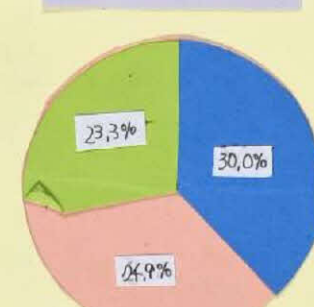
野球



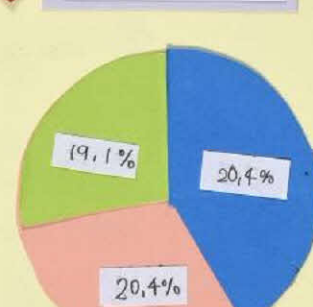
サッカー



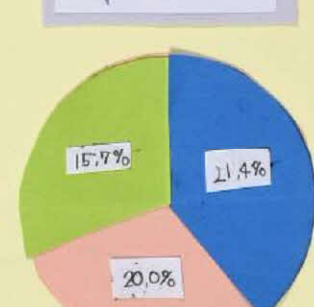
バスケットボール



バレーボール



卓球



分かったこと:

陸上は、他の競技と比べて、競技人口が桁違いに少ないことがわかりました。陸上は、中学校の競技人口が最も多く、小学生の競技人口が最も少ないことがわかりました。これは、他の競技はクラブチームが多いので、比較的競技がはじめるのが早いのに対して、陸上は、クラブチーム数が少ないので、小学生から始める人が少ないと推測できます。また、中学校では、音階として陸上競技を始める人が多いので競技人口が多いことが推測できます。

まとめ:

他の競技は、プロ競技(プロ野球、Jリーグ、Bリーグ、Vリーグ、Tリーグ)として、職業として目指すのに対し、陸上は、プロ競技ではないので、競技人口が少なく、続ける人も少ないのではないかと感じました。日本には、プロ競技としてのリーグ戦はないので、陸上の競技人口を増やし、レベルを上げるために、日本いいプロリーグがほしいなと、思いました。